

組織目標評価報告書(2019年度)

31

部局名: 中性子医療研究センター

部局長名: 那須 保友

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
②研究領域	研究領域の目標の達成状況
目標に関連する 年度計画の番 号 ・中性子医療研究センターは「BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)科学の世界ハブ拠点」を指向し、新規ホウ素薬剤化学のネットワーク構築を行う。研究成果等の積極的な情報発信により、研究力の強化及び国際的知名度の向上に努める。 ・中性子医療研究センターは、新規ホウ素薬剤化学のネットワーク構築のため、複数の大学との共同研究契約を締結し、新規ホウ素化合物を評価する。IAEAへの働き掛けのため、クロスアポイントメント制度を活用し、英語での中性子医療研究センター方針をレビューにまとめ発信する。	27-1 37-1 69-1 ・2018年度に新たに雇用した外国人教員が「ドイツBNCT学会」を創設し、欧州国内、例えば、ライプツヒヒ大学教授あるいは日本国内、例えば東京工業大学等との研究交流が実現している。 ・中性子医療研究センターの第3回シンポジウムを開催し(2019/12/10)、IAEAとの連携や新たなホウ素薬剤OKD-001の研究開発の進捗報告を行なった。この成果を英語のレビューとして取りまとめている。 ・新規ホウ素薬剤は、国際資金の獲得に向けて交渉を進め、デュー・デリジェンス(適正評価手続き)を受けた。国際展開中である。 ・イタリアのパヴィア大学とクロス・アポイントメント協定を締結し、同大教員の招聘を可能とすることができた。 ・欧州委員会が主導するRISEプロジェクトにBNCTが参加する可能性について外国人教員と学内での検討を進めている。
③社会貢献(診療を含む)領域	社会貢献(診療を含む)領域の目標の達成状況
目標に関連する 年度計画の番 号 ・国際原子力機関(IAEA)への働き掛けを継続し、BNCT研究者との研究連携を進める ・将来の「中性子医療関連研究拠点」の形成に向けて、研究の状況、病院の考え方なども考慮し、検討を進める。	27-1 ・BNCTガイドライン改訂のための専門家会議(CM)を開催(2018/10)の開催実現を主導したことを受けて、次ステップにつながる技術者会議(TM)開催を計画している。再度CMを今度は岡山で開催する計画を進めている(2020/12)。 ・「中性子医療関連研究拠点(仮称)」について、地方自治体と連携して検討を進めている。
④管理運営領域	管理運営領域の目標の達成状況
目標に関連する 年度計画の番 号 ・クロスアポイントメント制度の導入を積極的に推進し、研究者の流動性を高める。	69-1 ・前年度に引き続き、イタリア人教員(研究者)の招聘を計画し、クロス・アポイントメント協定を締結したが、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、実施間際で中止となった。
⑤センター・機構等業務	管理運営領域の目標の達成状況
※研究領域及び社会貢献領域にまとめて記載	研究領域及び社会貢献領域にまとめて記載